

第112回: 虎の尾を踏む男たち

中国最古の兵法書である孫子に登場する最も有名な言葉は「敵を知り己を知れば百戦危うからず」であり、この戦術を裏返せば、敵も己も知らぬバカが戦争をすれば百戦百敗となる理である。重慶(巴)の要人が、成都(蜀)の地で惹起したる巴蜀の乱というか、重慶事変がその典型である。

重慶事変の主人公である薄熙来の能力を知るには彼の経歴を見ると良い。故・薄一波副首相を父に持つ彼は北京で育ち、高級幹部の子弟が集うエリート高校の「北京市第四中学」に進み、文化大革命が始まると紅衛兵のリーダーとして頭角を現わしたと云うが果たしてそうか？当時四中のリーダーは薄熙来ではなく、おなじ太子党出身で後に中信集団(CITIC)の総帥となった孔丹や、招商局集団(China Merchants) 董事長の秦曉であったと紅衛兵 OB たちは語っている。中信と招商局はいまや中国を代表するコングロマリットに育ち、多くの傘下企業が中信証券、招商銀行といった銘柄で香港や上海に上場している。

薄熙来の政治キャリアは1992年の大連市長から始まる。彼はアカシアの大連を懐かしむ日本の企業家たちには好かれたようだが、彼が大連を「最大」の都市ではなく「最良」の都市に育てようとした構想は可としても、その後大連が上海・蘇州・深セン等を凌駕する成長を遂げたとは必ずしも云えないだろう。彼は大連市長のあと遼寧省の省長に就任するが、内部抗争に巻き込まれ、省トップの党書記になりそこねる。

失意の彼を江沢民派の曾慶紅が救い、経済閣僚の商務部長に送り込んだが、彼のスタンドプレーが米国に嫌われたのは名誉としても、同僚にも部下にも上司にも嫌われてしまい副首相(政治局委員)の呉儀女史に至っては「私は名誉職を全て辞退し、身一つで引退(裸退)するから、彼だけは副総理にさせないでね」と言い残したという。あくまで噂だが彼女の「裸退」事件はネットを通じて、一気に全国に広まった。そういった経緯で彼は重慶に飛ばされ、捲土重来を期して「ヤクザを討ち、毛沢東の原点に帰る」《打黒唱紅運動》に政治生命を賭け、そして返り討ちに遭ったというお粗末な一席である。

薄熙来の頓挫は対戦相手を間違えたことに尽きる。胡温政権というように中国最大の実力者は胡錦濤と温家宝である。2月の重慶事変で、王副市長の米国領事館逃亡を知った四川省のトップは、直ちに中央の指示を仰ぐことに決め、令計画・中央弁公庁主任に電話したという。令計画は胡錦濤の指示を受け、温家宝首相や、公安諜報を司る周永康(党政法委員会書記)、外交担当の戴秉国(國務委員)たちに招集を掛けたはずである。弁公庁とは共産党の事務局と秘書室を合体したような組織であり、機密情報は全て弁公庁を経由する仕組みとなっている。歴代全ての共産党指導者が最も信頼する部下を弁公庁主任に任命してきた。従って党のトップが変われば弁公庁主任も替わるのが普通だが、温家宝は胡耀邦・趙紫陽・江沢民の三代の総書記に仕えたという前代未聞の経歴を持つ。胡耀邦と趙紫陽はその後、保守派の反撃に遭って失脚するが、なぜか女房役の温家宝は生き延びた。理由は諸説あるが、政変のあと胡や趙の批判大会が開かれ、以前の側近が手のひらを返したように胡耀邦たちの批判に回ったとき、温家宝ひとりが胡耀邦批判大会でも、趙紫陽糾弾大会でも、彼らの批判を避け、全てが自分の責任であると声涙俱に下る自己批判を行い、保守派長老たちを感動させたと云う。存命や栄達に右顧左眊しない剛直な人柄を知った楊尚昆は頼まれも

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

しないのに、「職務に忠実だったせいだ」と彼を庇ったという。中国人は一人で易水を渡る荊軻や、単刀赴会で敵地に飛び込む関羽のような人物に弱いのである。

A・ネイサンの著書「中国権力者たちの身上調書」に、当時の朱鎔基首相が記したと云う温家宝評があるので引用する。「身は卒に先んじ、敢えて責任を担う。思考は緻密、談論は整然、要約に長じ手順よし。陣に臨み、慌てず沈着冷静。小事も大切に扱い、よく大局を見る。問題発掘に秀で、関係調整をよくす」。見事な人物評だ。魑魅魍魎が跋扈する中南海を20年以上も生き抜いた温家宝は莫大なポリティカル・キャピタルを手に入れた。そのなかには薄熙来一族の個人ファイルも当然含まれているだろう。

天安門事件が発生したとき、胡錦濤はチベットにいた。歴代軍人が送り込まれてきたチベット自治区に、初の文民党書記として就任したのである。彼と温家宝は若い頃、甘肅省で頭角を現し、二人ともほぼ同時期に北京に戻され、順調な道を歩み始める。胡錦濤は胡耀邦総書記に認められ、共青団の第一書記を勤め、次は党中央組織部の幹部に昇進する筈であったが、共青団の太子党一派が平民出身の彼に嫉妬し薄一波たち長老に讒言したため、胡耀邦はやむなく胡錦濤をほとぼりが冷めるまで地方に異動させたという経緯がある。彼は1985年、中国最貧地の貴州省に、88年12月にはチベットに転勤する。誰もが彼の将来は暗いと思ったはずである。しかもチベットには独立運動の火種がくすぶっており、89年1月にパンチェンラマ10世が急逝するとチベットは一気に沸騰する。各地で暴動が発生するなか、平和的対話に積極的であった胡錦濤は迷いに迷ったようだが、臍を固めてからの行動は速かった。彼は党中央に対し人民解放軍の指揮権委譲を要求すると、3月8日午前零時ラサに戒厳令を敷き、自らヘルメットに軍服姿で現場に乗り込んで暴動を鎮圧する。凡庸な人物であれば自分の手を汚すことを嫌い、成都軍区に師團出動を要請しただろうが、胡錦濤はチベット独立運動を断固鎮圧し、その全責任を自分でとると決断したのである。この血の弾圧で胡錦濤は海外からさんざん批判されたが、これが二カ月後の北京戒厳令を正当化する根拠となる。当時の首都北京の大混乱を收拾するため、武力弾圧を決意した鄧小平・薄一波たちの背中を推したのは、一見ひ弱に見える胡錦濤だったのである。

これらの経緯が証明する通り、胡温両氏の能力・胆力は薄熙来の比ではない。重慶事変は更に拡大し、中国の権力地図を大きく塗り替える可能性もあるが、胡温コンビが続く限り政権は揺るがないだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年3月26日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。